

# 理事長あいさつ

## ■ 5年後に当センター設立20周年を迎えるにあたり

理事長 眞島 勝



当センターの平成30年度定時総会を5月31日に滞りなく無事終えることができました。また会員の皆さま方には日頃より当センターの事業運営にご協力いただきありがとうございます。

今年も猛暑日が予想されますので、無理をせず安全就業に努めていただき事故防止に努めてください。

さて平成29年度を簡単に振り返りますと、平昌冬季オリンピックに向けて大きく世界情勢が変動していたものの、日本国内に目を向ければ景気は緩やかに回復傾向にありました。しかし、政治は依然として混迷していました。

このような社会情勢の中、シルバー人材センターの「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員に生きがいとなる就労機会の提供に加え、各種ボランティア活動など地域貢献事業を通じて、多彩な事業展開を進めることができ、請負・派遣の合算での契約金額で1億5,548万円、前年対比100.6%（前年実績1億5,453万円）と健闘しました。収支決算におきましては、2,681千円と当期経常利益が

黒字になり、3期続いた赤字を解消することができました。

これは会員の皆さん並びに役職員が一丸となって、赤字解消に向かって取り組んでいただいた成果だと思っています。

ありがとうございました。

平成30年度の日本経済は、緩やかに回復基調が続いていますが、人口減少や高齢化が進む中で、雇用や所得環境の改善が見られる一方、個人消費や民間企業の投資に力強さを欠いた状況がまだまだ続くと思われる。

このような中、平成30年度からは更なる経営基盤の強化と拡大を図り、安定させていくことが重要です。

事業計画として20周年記念行事に向けての準備を進めるという項目を新たに追加し、改めてシルバー人材センターの役割を再認識し、基本理念の下、精華町をはじめ関係当局のご支援、ご協力をいただき、各種団体と連携を保ちながら、公益社団法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、会員はじめシルバー人材センター役職員全体のレベルアップを図っていきたいと思っています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 平成29年度決算監査報告

平成29年度の決算にかかる監査等を以下のとおり実施いたしました。

平成30年4月17日（火）

収支計算書及び財務諸表の確認について  
衣目公認会計士事務所 公認会計士 衣目修三

平成30年4月19日（木）

会計および業務監査  
監事 廣利 勝行  
監事 木村 光雄



### 表紙写真のひとこと

連節バス「YELLOW LINER」華蓮（イエローライナーかれん）精華大通りの景色に似合っていますね。

ATRバス停留所で夕陽を受けながら停車する風景を撮りました。都市景観100選に選ばれている街にまた新しい風景が加わりました。昔は山だった光台。この停留所付近の標高は101mで、もう少し西の光台8丁目バス停留所では標高133mです。都市景観100選を楽しむコースとしては、光台8丁目付近から精華大通りを東へ坂道を下り、けいはんなプラザ、ATRに向かって歩くコースをお薦めしています。秋には錆色と赤銅色に輝くメタセコイア並木も楽しめます。

（文：清水泰律）